

平成19年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療 拠点病院等連絡協議会

日時：平成19年8月23日

場所：鯉城会館

中核拠点病院からの報告「動き始めた中核拠点病院」

岡山県の場合：



川崎医科大学附属病院 血液内科

和田 秀穂



津山中央病院

岡山大学附属病院
岡山済生会総合病院
国立岡山医療センター
岡山赤十字病院
岡山労災病院
川崎病院

川崎医科大学附属病院
倉敷中央病院

国立南岡山医療センター

岡山県人口
約195万人
岡山市70万
倉敷市47万
津山市11万



© CyberMap Japan Corp.

HIV診療を担当しているスタッフ数

	医師 (診療科)	看護師	薬剤師	臨床検査技師	MSW	カウンセラー
A	2人血液内科	2	1	1	3	0
B	4人血液内科 感染症内科 消化器内科 歯科	1	2	1	2	1
C	4人血液内科 神経内科 呼吸器内科	0	0	0	0	0
D	3人呼吸器内科	1	2	0	0	3
E	2人呼吸器内科	2	2	1	1	0
F	1人呼吸器内科	4	2	1	1	0
G	1人血液内科	2	1	1	1	0

岡山HIV診療ネットワーク会則

. 総則

1. 本会は岡山HIV診療ネットワークと称する。
2. 本会の事務局は代表幹事の指定する施設に置くこととする。

. 目的

1. 岡山県の医療・保健・福祉・心理の関係者を対象としたHIV/エイズ研修と関係者間の相互理解に基づく連携樹立を目的とする機関として、「岡山HIV診療ネットワーク」を設置する。

2. 活動内容

HIV/エイズについての最新の医学関連や心理・社会関連の情報交換を目的とした相互研修会を行う。

HIV/エイズ問題に携わる専門分野間の連携を図り、相互理解を推進する。

HIV/エイズ疾病やHIV感染者/エイズ患者に対する社会一般の理解を深めるための啓発活動を行う。

. 幹事

医療・保健・福祉・心理分野等の関係者より15名以内をもって構成する。

岡山HIV診療ネットワークの活動状況

歴史:

発足: 1994年5月
名称変更: 1998年7月

倉敷HIVカウンセリング研究会(4年間)
岡山HIV診療ネットワーク

活動報告:

2000年11月(於 第14回日本エイズ学会; 京都)
2003年11月(於 第17回日本エイズ学会; 神戸)
2004年12月(於 第18回日本エイズ学会; 静岡)



活動状況:

特別講演会: 2回/年
定例会: 4回/年(会場は4施設の持ち回り)
HIV抗体検査: 世界エイズデーin岡山(於; 岡山大学祭)
牛窓セミナー(カウンセリング研修会): 1回/年

HIV/AIDS (n=34)



中核拠点病院：川崎医科大学附属病院

中核拠点病院に期待すること

- - 県内拠点病院へのアンケート調査から - -

- ・ **検査**体制の充実
- ・ 耐性ウイルスに対する遺伝子**検査**を行ってほしい
- ・ **診療**サポート
- ・ **診療**上のconsultができるような体制
- ・ 医師(研修医を含む)、スタッフの定期的な**教育**
- ・ HIV/AIDSの診療に関する**教育**講演を岡山で聴きたい
- ・ 情報発信
- ・ 他の拠点病院に対する刺激が必要
- ・ HIV感染予防成功のための施策の提言
- ・ 経験不足を補えるような企画

まとめ： 岡山県の現状と課題

特徴

10の拠点病院すべてが、HIV/AIDS診療に実際に携わっている。
初期から岡山HIV診療ネットワークが活動し、連携体制がすでに構築されている。
医療機関や行政関係者に、熱心な医師、看護師、薬剤師、心理相談員、MSWなどがいる。

課題

歯科診療所との連携が全く出来ていない。
難治例、重症例、終末医療の経験不足。



平成19年度の目標

まず、岡山HIV診療ネットワークの定例会議でワークショップを開催し、問題点を抽出する。(2007年10月6日)

県歯科医師会を通じて、歯科医の積極的な参加を呼びかける。
厚労省「医療体制構築のための連絡会議」の中四国ブロック開催準備。
(2007年12月22日)